



## こころ豊かな 地域社会の実現を

湯河原町長 米岡 幸男

湯河原ロータリークラブが、創立40周年を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。皆様方には、クラブの基本精神である四つのテストをモットーとし、地域社会のリーダーとして青少年の健全育成事業や保健福祉事業など、全員の強い絆のもと、幅広く地域に密着した奉仕活動を積極的に展開してこられました。

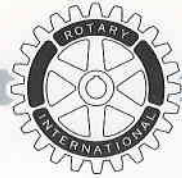
「絆」という言葉は、元々は馬などをつなぎ留める綱のことですが、転じて「人と人との断つことのできないつながり」を言います。奇しくも今年も午年。私ども行政も「縦の絆、横の絆を大切にしまちづくり」に邁進いたします。

かつて貴クラブに所属していた私にとって、クラブでの活動経験が現在どれほど役立っていることか。年重なり、月移り、会員の皆様の顔ぶれも幾多の代謝がある中で、お世話になった今は亡き先輩会員の名前を思い浮かべ、なつかしく頭が下がる思いがいたします。

同時に日頃、各分野の第一線でご活躍されるかたわら、クラブの諸事業にも尽力される皆様の熱意、バイタリティあふれる行動力に深く敬意を表する次第です。

21世紀という新たな時代の幕が開きましたが、依然として町を取り巻く環境は大変厳しい状況にあります。しかし、幸いにも町民の皆様のボランティア活動をはじめとした社会に貢献する意欲、活動は、社会の成熟化・多様化に伴い、年々、活発になっています。

そのような時代を先取りし、40年にわたる長い歴史と伝統に培われた、豊富な奉仕活動の経験をお持ちの皆様には、「こころ豊かな地域社会」の実現に向け、ボランティア活動の先駆者として、四つのテストに代表されるクラブの基本精神を次代へ確実に引き継ぐとともに、さらに活動の輪を広げられることをご期待申し上げ、お祝いのことばといたします。



## 湯河原ロータリークラブ 創立40周年お祝いの言葉

神奈川県議会議員 向 笠 茂 幸

この度、湯河原ロータリークラブ創立40周年記念式典を挙行されますことを、心よりお慶び申し上げます。

また、この意義深い式典に際してお祝いを申し上げますことは、私にとってもこの上ない喜びでございます。

湯河原ロータリークラブは、国際ロータリーから認証を受領されてから40年の歳月を経られたのでありますが、この間、各時代における歴代会長はじめ、関係各位が奉仕の理念に基づいてご尽力なされ、極めて順調な発展を遂げられ、現在では29名の会員を擁し、湯河原町に確固たる基盤を築いていられることに敬意を表するものでございます。

貴ロータリークラブにおかれましては、多年に亘り、青少年教育、社会福祉の向上、交通安全対策、環境保全、観光地湯河原に対する観光施設等に深い思いやりと関心をもたれ、種々の寄贈をされ、また時には社会奉仕という形で貢献なされました。そして、湯河原町の各業界と連携をたもちながら、社会生活、個人生活を通じて湯河原町の発展、地域社会生活の向上に寄与されましたご功績は誠に大きいものでございます。

ここに各位のご好意に会員の皆様に対し厚くお礼申し上げる次第でございます。

さて、40年前と申しますと東京オリンピックの2年前になりますが、日本が敗戦国としての大きなダメージから立ち上がり、その経済力を世界に認められ、高度成長期のそれも一番右肩上がりのオリンピック景気に沸きかえていた時で、国民生活に余裕が出来たものの、戦前のそれとはちがう奉仕や道徳、そして環境、福祉は二の次、三の次と言われた時代に、奉仕と友愛を基本理念にしたロータリークラブがこの地に誕生したことは驚きでもあり、誇りといたすものであります。

ここに謹んで創立40周年をお祝いし、将来なお一層のご活躍とご隆盛を祈念し、湯河原町の経済、文化、福祉の発展に貢献くださいますようお願い申し上げます。

会員各位のご健勝とご多幸をお祈りしてお祝いの言葉といたします。



## 創立40周年によせて

チャーターメンバー 吉 光 閱 爾

過ぎてしまえば早いもので、湯河原Rotary clubがピカピカの一年生の姿でR.I.の一員として承認されてから、はや四十年になりました。当時の私は四十歳で、会員二四名中若い方から二、三番目でした。四十年経って、当然ながら八十歳になって、周囲を見回すと、何と私はclubで二番目の高齢者になっています。Rotary club会員としての生活の心地よさに慣れ親しんでいるうちに、長い歳月を空費したのではないかと、ときどき、浦島太郎の心境に落ち入ることもあります。そんなとき、いやいや私はRotary会員としての自覚を保ちながら職業に従事し、私生活も維持した結果、希望ある隠退生活を手に入れることが出来たのだと思い直しています。

先ず以上のように高齢者会員の心境をご披露申し上げた上で、更に湯浅恭三Past governor（湯河原clubに認承状を伝達して下さった、1962-1963年度governor）のお言葉をもう一度思い起こして見たいと思います。それは湯河原club三十周年記念誌に掲載されている湯浅P.Gの寄稿文の終りの方にありますが、改めてご紹介致します。

「われわれRotarianはもっと地域社会の人にRotaryを認識してもらう必要があります。Rotaryの性格は、Paul Harrisの時から根本的には変更ありませんが、社会の発達と時勢の進展により、それに応じた成長を必要とします。環境の保護、自然環境の保全など、近年globalな問題が論ぜられ、活動を迫られています、その根本にある精神はRotarian各自の中から湧きでて来るservice精神だと考えます。」

と述べられておられます。要するにRotary精神を敷衍すれば、如何なる社会状勢の変化にも対応出来る筈だと言っておられるのだと思います。

最近会員の減少が目立ちますが、現存会員はすべて「Rotary精神」とは何かということ、体の中に滲み込むように体得した人々だと信じています。しかしピカピカの一年生の気概は薄れていることは否めません。此の際、皆さんと一年生に戻ったつもりでやりたいものです。



## 湯河原ロータリークラブ 40周年記念事業について

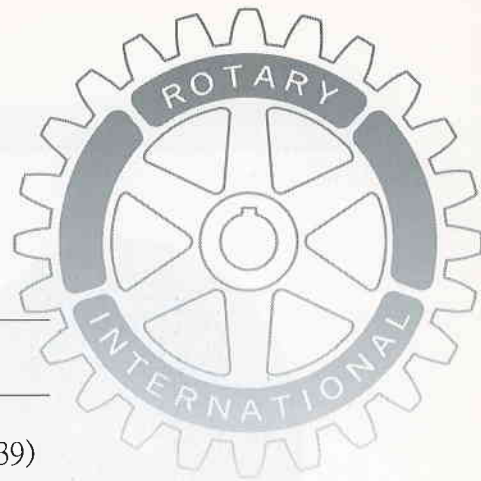
記念事業委員長 空 本 善 吉

湯河原ロータリークラブも昭和37年4月20日誕生して、早や40年が経ちました。この間5年毎に様々な記念行事が行われてきました。観光地湯河原として、春には梅や桜、夏は海水浴、秋には紅葉という大変自然に恵まれ、前には相模湾、後には天下の箱根連山の懐に包まれた温泉地であります。

そこで創立10周年記念事業として、城山山頂附近の斜面に山紅葉3,655本を購入して（内700本は横浜市農協植木部長の御寄贈）植樹をし、現在に至るまで毎年、メンバー全員で下草刈りをして毎年大きくなってゆく紅葉を見ながら楽しんでおります。

そこで今年行われる40周年の記念事業の一つとして、この山頂入口附近にシンボリックに鮮やかに色づく紅葉の成木を植樹して、従来より一層秋には美しい景観を造りだす事業を目論んでおります。また他の一つとして、観光地湯河原の駅前に大きな時計が欲しいという多くの地域住民の方々から町当局に要望があることを聞き、毎朝通勤、通学される方々や、観光客の方々に重宝に感じて頂ければ大変有意義なことと思ひ、なんとか予算をやり繰りして、駅前に大きな時計を寄贈することが提案され、湯河原クラブのメンバーも皆さんころよく賛同をして頂き、ここに湯河原クラブを挙げてこの二つの事業を40周年の記念事業とすることになりました。

これにより町の内外を問わず大勢の皆さんに喜んで頂ければ幸いと存じます。



## 永年在籍表彰

### 湯河原ロータリークラブ在籍30年以上（8人）

天野 弘之 (40)	吉光 閱爾 (40)	稲葉 隆 (39)
室伏 光雄 (31)	吉田 充 (31)	石川 雅雄 (31)
春宮 寛治 (31)	空本 善吉 (30)	

### 湯河原ロータリークラブ在籍20年～30年未満（2人）

高知尾朝行 (27)	府川 清 (20)
------------	-----------

### 湯河原ロータリークラブ在籍10年～20年未満（7人）

浅田 真隆 (19)	八亀 義臣 (18)	小松 雄成 (18)
伊藤 伸之 (17)	杉山 茂久 (13)	飛田 政司 (10)
佐東 丈介 (10)		

### 湯河原ロータリークラブ在籍5年～10年未満（6人）

佐藤 泰文 (9)	向笠 進 (8)	日比谷和志 (7)
平間 章弘 (6)	西山 敦 (5)	菅原 保 (5)



## 一年を振り返って

第39代会長 飛田政司

第39代会長を、お受けするにあたり伝統ある湯河原ロータリークラブの名誉を汚さず前向きにやっていけるのか大変不安でございました。ここ数年の傾向ではございますが会員の減少それに伴う財政難に歯止めをかけ時代のニーズにあいコミュニケーションのあるクラブ運営を目指したいと考えました。

何年か前より再三とりだたされておりました湯河原南ロータリークラブとの合同例会の実現でございませうが湯河原南ロータリークラブ会長の絶大な協力をいただき、両クラブ各委員会の綿密な打ち合わせのもと開催することができ、ロータリアンとしての友情をいっそう強くする





ことが出来ました。

又、葉山ロータリークラブよりロータリークラブの連携を保ち奉仕活動により自然保護や交通遺児育成等への支援の一端を担うクラシックカーラリーの実施に協力依頼があり、趣旨に賛同し実施をいたしました。



実施には、会員の皆様を通じ各団体や各企業より多大な協賛をいただきながらロータリー精神もおおいにアピールできました。

開催当日は、土曜日ということもあり大変な交通渋滞で湯河原地区の予定通過時間を二時間以上も遅れてしまいギャラリーの皆さん

も大変気をもんでしまったようですが、チェックポイントには多数のギャラリーが最終車両通過まで声援をおくっていただき、ラリー参加者たちもたいへん勇気づけられたそうです。

又、会員の皆様にも長時間に渡るご協力を有難うございました。こうして何とか一年間ロータリー暦の浅い私が会長としてやってこれたのも、会員皆様の暖かい友情と、心より感謝を申し上げます。